

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレシス平塚 新築工事	階数	地上11F
建設地	神奈川県平塚市宮の前9番18、9番23	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	198 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年8月24日
敷地面積	914 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社プラスデコ
建築面積	530 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月25日
延床面積	4,875 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社プラスデコ



ごさい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	室内環境、サービス性能、資源・マテリアル、敷地外環境を基本に中程度の配慮がなされた設計である。	その他 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	開口部遮音性能、昼光利用環境に配慮がなされた設計である	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体材料の耐用年数において配慮がなされた設計である。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		概ね中程度の配慮がなされた設計である。
<b>LR1 エネルギー</b>	建物外皮熱負荷抑制・設備システムの高効率化に配慮がなされた設計である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 部材の再利用可能性向上への取組、フロン・ハロンの回避において配慮がなされた設計である。
		<b>LR3 敷地外環境</b> 概ね中程度の配慮がなされた設計である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される